

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔菓子〕 （企画担当）	・以前のようなまとめ買いは減り、客単価も下落しているが、客数が増加しているため、全体の売上は上昇している。目的によって買い分けている様子うかがえる。
		その他専門店〔書籍〕 （店長）	・出版業界等々では、ベストセラー、ヒット作品が出るかどうかというのは予測がつかないため、この点に関しては先行き不明だが、若手の作家が増えていることから、今後が期待される。
		ゴルフ場（経営者）	・来客数が入込予想で増加の見込みである。ただし、自然増のみでなく、多少の営業努力を要した結果としてである。
	変わらない	百貨店（担当者）	・年明け以降も依然として気温は高いことが予想されることから、春商品の導入までは回復は期待できない。
		スーパー（経営者）	・売上、来客数については、前年と比較して横ばいという状況にあるが、低価格競争のあおりを受け、客単価が前年より、かなり落ちている状況にある。この低価格競争については、競合店との競争等が今後も益々激しくなると予想されるので、しばらくはこの傾向が続く。
		スーパー（企画担当）	・競合各社の新店舗の開店も一段落着き、それによる特に大きな影響も見られず、また、当面は競合他社の出店等の予定もないことから、今後2、3か月は今月同様で推移する。
		コンビニ（経営者）	・景気が良くなってきたように思われていたが、客の買物に慎重な様子うかがえる。
		コンビニ（エリア担当）	・新規の大型店開店がほぼ一段落したので、やや落ちつく傾向にある。しかし、アメリカのBSE問題は購買意欲を遠ざけるなど影響が出てくる。
		コンビニ（エリア担当）	・世界的なテロの発生等、大きな外的変化がなければ、しばらく好調な状態を維持する。
		衣料品専門店（経営者）	・12月のクリスマス商戦では大した効果はなかったが、これからの新しい春物の商品に期待している。
		家電量販店（副店長）	・景気の先行きの不透明等により、客の消費意欲は停滞気味になると思われ、客単価、売上とも改善が見られず、現状とさほど変わらない。
		その他専門店〔楽器〕 （経営者）	・少しずつ良い方向に向かっているように感じるが、購買単価が低くなっており、高価な商品の動きも鈍化している。安易なサービスや価格競争等により、今後もますます厳しくなる。
		高級レストラン（副支配人）	・県では入域観光客数は増えるとの予測が立てられているようだが、それに向けてのイベント等、特に大きな取組などはないようなので、あまり変わらない。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・稼働率、単価ともほとんど前年の動向と同じである。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	・宿泊客の1月の予約状況が前年に比べ不調となっており、地元宴会の予約状況も活発ではない。婚礼等の入込については前年に比べ好調ではあるが、宿泊が2、3月はオンシーズンになるため、例年通りの動きが期待される。
旅行代理店（経営者）	・しばらくは今の状況が続く。		
観光名所（職員）	・イラク戦争、海外でのテロ発生及びアメリカのテロ発生危険度の引上げを考えると、海外旅行者の国内旅行への移行傾向は続く。ただ国内でのテロ発生、及び県内でテロ、SARSが発生した場合には国内旅行も縮小し沖縄への入域旅行者も減少する。		
住宅販売会社（従業員）	・今月初めに住宅取得減税の現行法の1年延長が決定したため、年明けの客の反応に期待される。		
やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・最近、年金問題が取りざたされているが、パートタイム従業員にも厚生年金を課すとなると、零細企業は困窮し、太刀打ち出来なくなる。	
	その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	・1、2月は落ち込む時期である上に、米国でのBSEの発症、台湾でのSARSの発病、自衛隊のイラク派兵と明るい材料がなく、落ち込みが懸念される。	
悪くなる	商店街（代表者）	・来客数が減少傾向にある。外周部の大型店は客入りが良いようだが、当中心商店街では観光客は多少いるものの、一般客は外周部の大型店に流れている。	
企業 動向	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-

関連	変わらない	建設業（経営者）	・問い合わせ件数が減少している。
		通信業（従業員）	・更なる効率化戦術が必要になるものの、市場や取引先の状況に柔軟に対応する努力を継続することで、景気への大きな影響はないと考える。
		通信業（営業担当）	・現在同様、低価格志向は続く。
	やや悪くなる	輸送業（営業担当）	・大きなイベント等の影響がどうであるか予測はつかないが、全般的には現時点ではやや悪くなる事が予想される。
		不動産業（支店長）	・景気が良くなる兆しがみられない。近隣でも取引成立の話をあまり聞かない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・観光関係の仕事について、来年度の打合せ等が始まっている。また、派遣の更新も順調に進んでいる所がほとんどであることから、現状よりも少し良くなる。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数の増加が顕著にみられる。 ・短期的な案件の増加に加え、長期的な案件も増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・依然として、正社員としての募集件数が少なく厳しい状況だが、サービス業関連の求人が少し増加してきており、今後はやや良くなるものと期待される。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職者数は前年同月比で2.7%減少している。常用求職者は7.0%、パートタイム求職者は15.1%とそれぞれ減少したが、県外希望の求職者は21.6%増加している。また、全体の23.5%が雇用保険受給者となっている。 ・新規常用求職者のうち、30歳以下の若年者が42.2%を占め、前年同期比で16.0%増加している。また、45歳以上の中高年齢者も前年同月比で16.1%増加しており、中高年がいったん離職すると再就職が厳しい状況となっている。今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・公共工事の減少で建設業が低迷し、建設関連産業を中心に倒産が増加することが危惧される。	
	悪くなる	-	-